

# 衛生害虫駆除の相談先と 駆除のコスト

## Key Points

元木 貢

アベックス産業株式会社 代表取締役社長

- ◎ 衛生害虫駆除の相談先に公益社団法人日本ペストコントロール協会があり、傘下の47都道府県協会が「害虫相談所」を設置している。協会のホームページで情報も得られ、気軽に相談できる。
- ◎ まずは調査を依頼し、調査報告書と見積書を参考にして判断されたい。その際には価格だけで選ばないこと、お互いに合意の上で発注することが望まれる。納得がいかなければ、相見積もりを取ることもお勧めする。
- ◎ 契約の際には、どの程度の駆除が期待できるのか、見積もりの範囲で駆除が完了できない場合はどのような対応をとってもらえるのか、駆除に伴う別途費用についてもあらかじめ確認しておくことをお勧めしたい。安値では責任のある駆除は期待できないことを理解いただきたい。

## はじめに

1999年(平成11年)に伝染病予防法が廃止されるまでは、市町村は人口3万人ごとに1班を標準として、ネズミ、昆虫などに関して衛生班を組織し、器具や薬品を備蓄し、住民の指導および駆除を行っていた。1998年(平成10年)に『感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律』(感染症法)が制定された結果、感染症が発生した場合は、「ねずみ族、昆虫等が存在する区域を指定し、当該区域を管理する者(住宅の場合はその住人)又はその代理をする者に対し、当該ねずみ族、昆虫等を駆除すべきことを命ずることができる。」とされ、それが困難なときには、「当該区域を管轄する市町村に当該ねずみ族、昆虫等を駆除するよう指示し、又は当該都道府県

の職員に当該ねずみ族、昆虫等を駆除させることができる。」となった。しかし、都道府県、市町村では駆除にあたる職員が急減しているため、これに代わって公益社団法人日本ペストコントロール協会がその受け皿となってきている。

## 公益社団法人日本ペストコントロール協会とは

1968年(昭和43年)に全国のネズミ・害虫駆除業者(ペストコントロール業者:ペストとは英語の「やっかいもの」が転じて有害生物の意、ペストコントロールオペレーター、略称PCO)により設立され、47都道府県協会の下に883社(2018年5月1日現在)の所属会員がおり、資格制度(ペストコントロール技術

者、ペストコントロール技能師)を有し、毎年各県ごとに従事者研修を実施、6月4日から7月4日までを「ねずみ・衛生害虫駆除推進月間」(通称:ムシナシ月間)と定めるとともに、6月4日を「ムシの日」として、全国規模で各種イベントを行っている。また、有害生物の防除で困ったときの市民の相談先として各都道府県協会に「害虫相談所」を設けている。

ちなみに、2016年度の全国の害虫相談件数は4万448件で、ハチ類が最も多く(55.2%)、次いでネズミ類(12.0%)、シロアリ類(4.3%)、ハクビシン(3.3%)、コウモリ(2.2%)、イタチ(1.9%)、ハト(1.8%)、トコジラミ(1.4%)、アリ類(1.1%)、ダニ類(1.0%)、そのほかにはノミ、カ、カラス、アライグマ、ムカデ、ヤスデなどがある。

同協会では、事業所やその従業員を対象に、いくつかの認証制度を設けており、ホームページでは、認証者の名簿を掲載している(<http://www.pestcontrol.or.jp/ninsho/tabid/246/Default.aspx>)。

#### ・ペストコントロール技術者

6ヵ月間で16単位(1級の場合)の通信教育に合格し、協会の認証を受けた1～3級の技術者(3年ごとに更新)。

#### ・優良事業所

事業所専任のペストコントロール1級技術者や機器材や設備、その他各種保険加入のすべての条件を満たし認証された事業所(3年ごとに更新)。

#### ・ペストコントロール技能師

協会が主催する、ペストコントロールの基

本知識、安全、法令遵守などの講習を修了し、試験に合格した者(3年ごとに更新)。

## 衛生害虫のホームページ

公益社団法人東京都ペストコントロール協会では、ホームページで、ハチ、ネズミ、ハクビシン、ケムシ、シロアリ、ハト・カラス、トコジラミ、ゴキブリ、コウモリ、ヤスデ・ムカデ・ゲジ、ヘビ、ダニ、カ、大型ハエ、コバエ、ノミ、食品害虫、衣類害虫の害虫相談のページを設けているので参照されたい(ホームページ：<http://www.pestcontrol-tokyo.jp/>)。

ねずみ駆除協議会では、「[ねずみ駆除]の手引き」(一般住宅用・飲食店用)をホームページで公開している(ホームページ：<http://nekyo.org/>)。

## 都道府県協会の連絡先

公益社団法人日本ペストコントロール協会の会員である47都道府県協会の住所、電話、FAX、URLをホームページ上に掲載している(<http://www.pestcontrol.or.jp/pcga/tabid/135/Default.aspx>)。

## PCOによる駆除方法

### 1 ハチ

ハチに刺されて毎年、20人前後の方々が亡くなっている。過去にハチに刺された経験のある方は、ハチ毒の抗体を保有している

公益社団法人 日本ペストコントロール協会

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3-4 サンクス神田駅前ビル3F  
TEL: 03-5207-6321 FAX: 03-5207-6323 ホームページ: <http://www.pestcontrol.or.jp/>

ねずみ駆除協議会事務局

〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6 一般財団法人 日本環境衛生センター 環境生物・住環境部内  
TEL: 044-288-4878 FAX: 044-288-5016

ので、アナフィラキシーショックにより重体になることが懸念される。特にスズメバチには注意を要する。巣の近くに近寄らないこと、巣を離れて餌を探しているときには、刺激しない限り刺されることはない。

スズメバチの巣が家の近くにできた場合は、地元の自治体に問い合わせるとよい。PCOに依頼すると補助金が出る自治体もある。PCOは防護服を着用し、安全にハチを駆除して巣も撤去してくれる。

## 2 ネズミ

住宅に多くいるのはクマネズミとドブネズミである。クマネズミは大都市に多く、郊外や地方都市ではドブネズミが多い傾向がある。クマネズミは、警戒心が強いので市販の殺鼠剤をなかなか食べてくれない。また、トラップにもかかりにくいので、PCOに依頼するのが賢明だ。ネズミ駆除は種類や環境状況によって駆除方法、回数、期間が異なる。PCOはまず調査を行い、調査報告書と見積書を提出する。ちなみに、ねずみ駆除協議会のアンケート調査によると、駆除に要した期間は、1ヵ月以内25%、1～3ヵ月23%、3～6ヵ月10%、1年以上2%、駆除の回数は、10回以内62%、11～30回17%だった(大規模なビルも含まれる)。

駆除方法は、建物や室内への侵入口の封鎖(防鼠工事という)、粘着トラップや捕鼠器による捕獲、殺鼠剤(独自に殺鼠剤を調製して使用する場合が多い)の配置などである。ネズミが死ぬとイエダニによる吸血被害や死鼠臭、ハエの発生などにより別途費用がかかる場合がある。

## 3 ドクガ

ドクガはサクラ、ツツジ、ツバキ、ウメなどから、チャドクガはチャ、ツバキ、サザン

カなどから発生することがある。幼虫の毒針毛が肌に触れると鋭い痛みと腫れを生じる。PCOは農薬を散布する。

## 4 トコジラミ

海外の主要な都市のホテル客室で急速に拡がっており、外国人旅行者が持ち込んだり、海外に旅行して持ち帰ったりして、日本でも増加傾向にある。多くの市販のピレスロイド系エアゾール剤は効果が期待できない。PCOは有機リン剤の液剤を散布したり、微粒子を隙間に吹き付けたりする。薬剤が届かない隙間に潜り込んでいる場合もあるので、通常、効果判定も含めて複数回の作業が必要になる。

## 5 ゴキブリ

関東以西の住宅にはクロゴキブリが、関東以北にはヤマトゴキブリが、九州・沖縄にはワモンゴキブリが多く生息している。PCOによる駆除は、殺虫剤散布、食毒剤(ベイト剤)の設置、場合によって空間噴霧を行う。床下、壁、天井内に成虫が隠れていたり卵が産みつけられたりすることがあるので数回の駆除と効果調査が必要である。

## 6 ダニ

ダニは肉眼では見えにくいので、痒いとダニのせいにされがちであるが、原因がわからないときは、PCOに調査を依頼するとよい。有料で調査だけ依頼することもできる。痒みの原因には、トコジラミやノミ、ネズミや鳥の巣があるとイエダニやトリサシダニなどによる吸血、ドクガなど毒針毛によるもの、ヒョウヒダニによるアトピー性皮膚炎、ツメダニによる遅延型アレルギー、その他内科的疾患などさまざまな原因が考えられるので、自宅の調査をお勧めする。

ヒョウヒダニやツメダニが疑われる結果が

出たら、殺虫剤は極めて効きにくいので、カーペットやソファー、畳の掃除機による清掃(2週間に1度、吸引力の強い真空掃除機で1m<sup>2</sup>あたり20秒かけて掃除をすると、喘息の症状が減ったという報告がある)が必要である。布団の内部にもヒョウヒダニやそれを捕食するツメダニが繁殖し、死骸やフンもアレルギーになるので、6ヵ月に1回程度、布団洗淨(丸洗い)をお勧めしたい。

## 7 カ

住宅地におけるカが発生源は、多くは敷地内の雨水桝<sup>うずいす</sup>、植木鉢の受け皿、空き缶などの溜り水、道路の雨水桝である。敷地内のカの幼虫には昆虫成長制御剤(insect growth regulator: IGR)を散布し、成虫には殺虫剤の液剤散布や空間噴霧を行う。しかし、近隣の発生源から飛来してくるので効果は一時的となり、定期的な駆除が必要である。野外でパーティなどを行う場合には有効である。

## 8 ノ ミ

ネコやイヌ、タヌキなどが死んだり、巣離れしたりすると、それに寄生しているネコノミが人を吸血することがある。巣の周辺や屋内に液剤散布を行う。

## 駆除のコスト

PCOによる駆除料金は、料金表があるわけではない。業界で統一的な料金表を作ると独占禁止法に抵触してしまうので、各社の基準で算定される。同じ害虫の種類でも、施工内容は住宅によって異なるので、まずは状況を確認してもらい、費用を算出してもらうことになる。官公庁建物の建築保全業務積算基準でも「見積もりによる」となっている。調査によってどのような害虫か、どのような方法

が必要となるか(殺虫剤を使用する、侵入口の封鎖、トラップを使用する、環境整備を行うなど)、移動時間、準備時間、作業時間、報告書作成時間、回数、数量などからそれぞれの現場ごとに算出して料金を決定する。補修作業が予測される場合もある。また、床面積3,000m<sup>2</sup>以上で、不特定多数の人が利用する建築物を対象とした『建築物における衛生的環境の確保に関する法律』(建築物衛生法)では、建物内の害虫の密度は、いつでもどこでもゼロでなければならないというわけではない。しかし現実的に、ホテルなどでは常時ゼロを要求されるので作業回数も一律ではない。また、営業員や事務員、管理者の人件費、材料費、車両費、事務所経費などの一般管理費も必要となる。安値では責任のある駆除は期待できないことを理解いただきたい。

## PCOに依頼する際の注意点

インターネットを閲覧すると、「見積もり無料・1年間保証をすべて含むパック料金」など価格表を明示して、低価格を売り物にして駆除依頼を受け付けているサイトもみられる。また、過去には作業時に害虫駆除とは関係のない耐震や床下換気などで法外な料金を要求する業者もみられた。作業回数、保証期間など物件によって異なるので、まず調査を依頼して調査報告書(どんな種類か、どんな被害があるのか、どこから侵入するのか、建物内に発生源があるか、どのような駆除が必要か)と見積書を参考にして判断されたい。その際には価格だけで選ばないこと、お互いに合意の上で発注することが望まれる。納得がいかなければ、相見積もりを取ることもお勧めする。なお、具体的な虫の死骸などがあればPCOとしても初期対応がしやすいが、原因不明の痒みなどの場合には、どこで、ど

んな被害を受けているか、できるだけ具体的な情報を提示することが必要である。

契約の際には、どの程度の駆除が期待できるのか、見積もりの範囲で駆除が完了できない場合はどのような対応をとってもらえるのか、壁の中や天井裏でネズミが死んで、腐敗

臭が出たり、ハエのウジが発生したり、イエダニが発生して痒み被害が出た場合に必要となる死鼠の回収や除臭、殺虫の費用についてもあらかじめ確認しておくことをお勧めしたい。

# クスリ 早見帖ブック 市販薬354

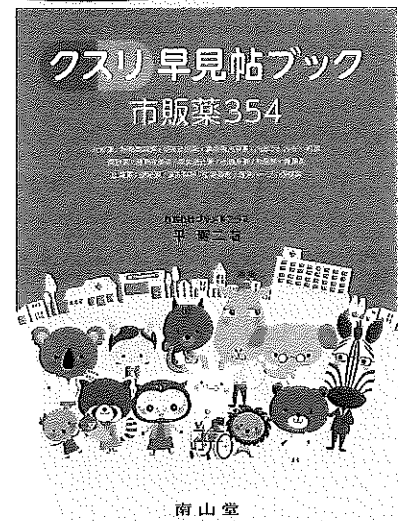
株式会社プラメドプラス  
平 憲二 著

医療機関に市販薬の最新情報を  
常備するために！

## 本書の特徴

- 354種類の市販薬（内服）の写真掲載！
- 「添付文書はウェブで！」をサポートするQRコードブック
- ブランド別インデックスで、簡単・迅速・便利に検索
- 「この成分は何？」のための成分一覧表
- 甘草や麻黄などのチェックに役立つ医療用漢方製剤早見表

病歴聴取の際、家庭で服用した市販薬を聞き出そうとしても正確に思い出せない患者は多い。しかし、製品名は思い出せなくても、外箱や中身の写真を見れば、かなり正確に「このクスリ」と特定できるという。本書を日常臨床の場に常備することで、服用した市販薬の成分特定を早く正確に導くことができ、適切な診療・処方に役立つことができる。



- A4判 94頁
- 定価（本体1,800円+税）
- 2018年1月発行



詳しくはWebで

 南山堂

〒113-0034 東京都文京区湯島4-1-11 URL <http://www.nanzando.com>  
TEL 03-5689-7855 FAX 03-5689-7857(営業) E-mail [eigyobu@nanzando.com](mailto:eigyobu@nanzando.com)